

受入先	茶業課
役職	地域おこし協力隊
隊員氏名	川口 塔子
着任日	平成 29 年 4 月 1 日

活動月	平成 30 年 11 月（着任 1 年 7 カ月目）
主な活動	地方創生トレーニングセンターproject に参加しました。

### 地方創生トレーニングセンターproject に参加しました。

11 月は、大手飲料メーカーの KIRIN がサポートしている、「地方創生トレーニングセンターproject」に知覧茶チームとして参加しました

このプログラムは、東日本大震災をきっかけに、地域の活動家やプレイヤーへ「人的支援をすること（意見交換をして事業を昇華させること）」を目的として発足し、現在は全国各地のプレイヤーがいる地域で実施しているものです。

この度、指宿市・南九州市穎娃町をフィールドとして選んで頂き、20 日～22 日までの 3 日間で約 50 名の地域事業の実践者・先駆者に現場へ来ていただきました。

今回、私は知覧茶の生産者さんのプレゼンの組み立てと、知覧茶の伝え方について考える裏方として、活動させて頂きました。知覧茶チームでは「お茶の市場の価値とは？ ～知覧茶・小売の挑戦～」を裏テーマに掲げ、連日連夜何度も打ち合わせと検討を重ね本番を迎えました。

当日は、穎娃の生産者代表の瀬川農園・瀬川晋哉さんから、まずは 2 つの圃場を比較しながら、「茶市場でのお茶の評価は“早さ”に着目されていること」をお伝えしました。その上で、必ずしも品質がいいお茶が高値で売れるとは限らないということ、だからこそ、品質の良いお茶を“自分の手”で、“新しい販売拠点”で売りたいという熱い想いを伝えていきました。

今回のことで、南九州市の茶業をはじめ、南薩に新しい風が吹くことを願いつつ、関わった一人ひとりが次に繋げられるよう頑張っていきたいと思います。

